

---

# 或る夜の夢

水谷遼

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

或る夜の夢

### 【著者名】

20699D

### 【作者名】

水谷遼

### 【あらすじ】

夏目漱石「夢十夜」の形式で書いた短編小説です。連載でちゃんと十話分書くつもりだったのですが、諸事情で出来なさそうなので短編にしてみました。あなたは、自分の知らない世界にいくことが出来ますか？

こんな夢を見た。

私は部屋の中に入った。しかし、それは部屋と言づには余りに冷酷に出来ていた。私は四方を冷たく固い物質に囲まれていた。その部屋の奥には階段があつたが、私はその向こう側を何故か知らなかつた。私は孤独だつた。私は膝を抱えうずくまつていた。震えているようにも感じた。私はその部屋に閉じこもつていたのだった。ふと、私の周りの壁がその存在を消したかのように思えた。私は、私を支えるものが何も無いことを知つた。

私は慌てた。が、私はそこに静止していた。そこは無の闇のようになっていたが、何故かすぐにそこが無ではないような気がした。私は誰かが私に話しかけるのではないかといつ予感に取り憑かれた。するとその予感は現実となつた。

「君もここに来たかつたのかい。」と声がした。成程私はここに来なかつたような気がした。「そうだよ。」と私は返した。「君は悩んでいるのかい。」と声がした。それは確かであるように思われた。私は「そうだよ。」と再度返した。「それなら君は何を悩んでいるのかい。」とその声は言つた。私は何を悩んでいるのか分からなかつた。しかし、それを見つける為にここに来たのだという気がした。すると、私の心を見透かしたようにそれが満足そうな声を出した。

「それならこれを見てじらん。」と声は言つた。ふと、私の目の前に汽車が現れた。「さあ、君はこの汽車に乗るかね。」とその声は私に尋ねた。その汽車は無の空間を旅するもののように思つた。私

はその汽車に乗ろうとした。ふと、私は不安をおぼえた。それはこの空間に来て始めて味わう感覚であった。私はどうしようもなく震えた。すると、声がその声をあげた。「そこだよ。君が悩んでいるのはそこなんだ。」と声は言った。「君はなぜこの汽車に乗らないのかね。」と声が詰問した。私にはその答えが分かつてているようになっていたが、それを言うのはためらわれた。「どこに行くのか分からぬから不安なんだろ？。」とその声は言った。私は自分の心の内を言い当てられて動搖した。

「いいかい。」声は続けた。「君は臆病になつてゐるんだ。君は本当は汽車に乗りたい、汽車に乗つて自分の知らない所に行きたいと思つてゐる。でも君は汽車に乗れなかつた。君には未知の物に臨む勇気がなかつたんだ。でもそうこうしていると汽車は出て行つてしまふ。その時点で君はそこに留まるしかなくなるんだよ。」声は一瞬言葉を切つた。「汽車ならば次の便が来る。しかしぬつが無い事だつてあるんだぞ。」声はその言葉を終わらせた。そして、私の周りが急に渦巻いたかと思うと、私はその中へ吸い込まれていつた。

私は部屋の中にいた。しかしそれは今や冷酷ではなくなつていた。そこには誰もいなかつたが、私は震えてはなかつた。ふと、階段に目をやると、その向こう側が何だかひどく明るく見えた。私はその光のする方へと歩いていつた。私は何かに突き動かされていた。私はその階段を脱出した。

そこは荒野だつた。私は周囲を見回した。私は、自分がすがれるものが己以外無い事に気がついた。ふと、私は何かの視線を感じた。見えるはずも無い星が私を見て微笑んでいた。私は歩き出した。

そこには階段の跡さえ見受けられなかつた。

(後書き)

読み終わりましたら、感想や評価をして貰うと嬉しいです。また、連載中ではありますが私のほかの作品も読んでいただけると有り難いです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0699d/>

---

或る夜の夢

2010年12月16日02時24分発行